

短梢無核栽培ぶどうの新梢管理 資料

平成30年5月23日 長野農業改良普及センター

1 栽培の流れ

樹種	品種名	区分	発芽	展葉	開花	満開	落花
ブドウ	有核巨峰 (松代)	本年	4月17日	4月20日			
		平年	4月21日	—	6月3日	6月7日	6月10日
		前年	4月21日	4月29日	6月2日	6月8日	6月14日

開花期の目安（平年値）：無核巨峰（有核巨峰より2日ほど遅い）

- ・ナガノパープル（無核巨峰より1日ほど遅い）
- ・クイーンニーナ、ピオーネ（ナガノパープルより1～2日ほど遅い）
- ・シャインマスカット（クイーンニーナ、ピオーネより3日ほど遅い）

生育ステージ	開花 15日前	10日前	5日前	開花始	満開期	落花期	満開 5日後	10日後	15日後
栽培管理作業	誘引	誘引 摘穂		房切り 摘心	第1回ジベレリン (フルメット)処理		段数見直し 摘房 摘粒 新梢管理		第2回ジベレリン処

2 種なしぶどうの好適樹相

(1) 望ましい新梢長

展葉7～8枚時	50cm 前後
開花始期	80～100cm
満開期	110cm

有核巨峰と比べ、強めの新梢を維持する
(弱樹勢は粒肥大が劣る)

3 新梢管理

(1) 新梢誘引のポイント：慌てない（ナガノパープルは発芽後1ヶ月頃から誘引を行う）

※ナガノパープルは他の品種に比べて作業適期が短いので、他品種より優先し、必ず適期に実施する。新梢の誘引を急ぐと折れやすいので、慌てずに適期に行う。

- ① 直立した新梢は基部（2～4節間）を稔枝してから誘引する。
ナガノパープルは必ず稔枝する（5月下旬～6月初旬）。稔枝から数日後以降に誘引。

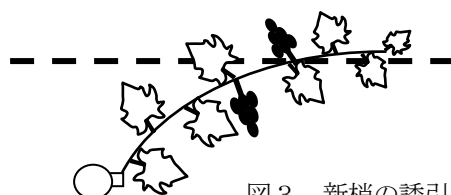


図3 新梢の誘引

房の形状を確認し、細長い方の花穂が棚下～横向きになるようにする。
細長い花房の方が摘粒は楽である。

- ② 誘引すると基部から折れやすい。誘引（棚付け）できても、数時間後に折れる場合もある。
（曇天日または晴天時の昼前～午後が折れにくい）
- ③ 新梢長が 50～60cm 位になった頃から、主枝に直角に平行誘引する。
できるだけ多くの新梢の誘引を同時に行う。主枝単位で新梢の誘引を終わらせるとよい。（部分的に誘引した場合、風が吹くと誘引した新梢に負荷がかかり折れる危険性が高い。途中で誘引作業をやめない。）
- ④ 芽座の基部側の新梢が弱い場合は立たせておき、先端側の新梢を棚付けする。夏場に伸長が旺盛になったら切除する（弱いまま残れば次年の剪定時に基部側まで切り戻すことが可能）。
- ⑤ 誘引して 20cm に 1 新梢になるようなら、不要な新梢は欠き取る。

3 無核処理（アグレプト液剤またはストマイ液剤 20 の散布）※散布時期が遅れないよう注意

- ① 満開予定日の 14 日前～開花始期にアグレプト液剤またはストマイ液剤 20 の 1000 倍液を 10 a 当たり 200～2500 散布する。処理回数は、いずれかの薬剤を 1 回。
- ② 房に直接薬液が付着しないと無核化効果はない。房がある程度大きくなり、垂れたのを確認してから散布する。
- ③ 短梢栽培では花房浸漬でも良い（ドリフト防止）。

この資料は平成 30 年 4 月 11 日現在の農薬登録状況をもとに作成しました。
農薬の使用に当たっては、最新の登録内容を確認のうえ使用しましょう。